

平成 29 年度 環境活動レポート大賞・九州 募集要領

実施目的

九州環境カウンセラー協会は、持続可能な社会の実現に向けて、九州・沖縄ブロックに拠点を持つ事業者を対象に、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の有効性を高め、経営に資することを目的として「環境活動レポート大賞・九州」を開催し、事業者を支援するとともに、選考にあたる審査人の力量向上に努めてきました。

「環境活動レポート大賞・九州」は、応募いただいたエコアクション21認証登録事業者の環境への取組による成果、各社の自主的かつ継続的活動の工夫を、公表された『環境活動レポート』から読み取り、優れたもの、特色あるものを選考し、表彰するものです。

九州・沖縄地域におけるエコアクション21認証登録制度のより一層の普及拡大、社会的認知度の高まり、さらには温暖化対策をはじめとする地球環境負荷の地域連携の充実につながるものと期待して、平成29年度も実施することといたしました。実施に当たっては、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局及び、エコアクション21審査人による強固な連携のもと、公平、公開の姿勢を堅持していきます。

なお、本制度は、今年度で10年目を迎えました。応募の対象は、ガイドラインに基づいて作成された「環境活動レポート」を基本としますが、事業者独自の外部コミュニケーション手段として作成され、公開されている報告書についても、外部コミュニケーション部門を設け、歓迎いたします。

10年目を迎えた本制度ですが、いろいろな角度から評価させていただき、特色のある環境コミュニケーションツールを表彰対象とさせていただく方針です。

1. 賞の種類

[1] 環境活動レポート部門

・環境活動レポート大賞・九州

最も環境コミュニケーションツールとして優れており、環境マネジメント（PDCAサイクル）が有効に機能していることが読み取れるもの。

・環境省九州地方環境事務所長賞

最優秀賞（大賞）同等もしくは準ずるもので、高く評価すべき取組を実施していることが読み取れるもの。

・10周年記念 特別賞

長年にわたり応募いただき、環境コミュニケーションツールとしての機能が充実している環境活動レポートであること。

・環境パフォーマンス大賞・九州

事業活動の特性を生かした取組を行い、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を

行い、且つ大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **エネルギー部門賞（省エネを含む）**

特にエネルギーに関する取組に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **廃棄物部門賞**

特に廃棄物の削減やリサイクルに関する取組に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、又は今後の成果に期待できるもの

・ **水部門賞**

特に節水や水環境の保全に関する取組みに優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **化学物質部門賞**

特に化学物質の削減（管理）に関する取組に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **グリーン購入部門賞**

特にグリーン購入に関する取組に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、または社会への影響が期待できるもの

・ **事業活動による環境貢献賞**

特に事業活動による環境貢献に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **生物多様性部門賞**

特に生物多様性に関する取組に優れ、その取組の根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ大きな効果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの

・ **新人賞**

この賞は、認証登録から3年未満の事業者を対象とし、今後の取組の発展と成果が期待できるものであり、簡潔明瞭な表現がなされ、これからエコアクション21認証登録を目指す、事業者の参考となるもの

・ **その他**、選考委員会の協議により特別賞を授与することができる。

各賞を受賞された事業者以外に、特色ある取組を行い、その成果が大きいか、または期待できるもの

[2] **外部コミュニケーション部門**

・ **外部コミュニケーション 優秀賞**

環境活動レポートのダイジェスト版、認証登録事業者の一部門で作成された環境情報掲載書で、一般に公開されており、情報発信機能が優れているもの。

元となる「環境活動レポート」も評価の対象とする。

※各賞は、該当事業者無しの場合もあります。

2. 募集対象

[1] 環境活動レポート部門

- ・エコアクション21の要求事項を満たした環境活動レポートで、平成28年7月から平成29年8月までに作成したもので、既に公開*しているもの及び、新規に認証登録審査を受け、九州・沖縄ブロック内地域事務局の判定委員会を通過しているもの。

※公開の方法は、エコアクション21中央事務局ホームページに掲載されていることもしくは地域事務局が受理したものの。

[2] 外部コミュニケーション部門

- ・[1]の基準を満たす環境活動レポートを作成、公開している事業者で、そのダイジェスト版や部門で作成した環境情報掲載書で、一般に公開しており、公開していることが確認できるもの。
- ・元となる環境活動レポートの添付を必要とする。

3. 応募資格

九州・沖縄県内に事業所があり、エコアクション21の認証・登録をしていること、または、エコアクション21の認証・登録審査を申込み、地域判定委員会の判定結果で認証・登録を認める判定を受けていること。

4. 応募方法

平成29年度環境活動レポート大賞・九州応募申込書に必要事項を記載し、九州環境カウンセラー協会事務局へ募集期間内に電子メールにて送付すること。

募集案内は、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局ホームページでも公開する。

《提出・問い合わせ先》

特定非営利活動法人 九州環境カウンセラー協会

事務局担当者 山下 ゆかり

〒860-0031 熊本市中央区魚屋町2丁目5番

サンコムビル3F

TEL/FAX 096-245-6237

Eメール jimukyoku-yamashita@qeca.org

URL <http://www.qeca.org>

《提出書類》

①申込書

②環境活動レポート※

③ダイジェスト版、部門で作成した環境情報掲載書（外部コミュニケーション部門応募のみ）

※エコアクション21中央事務局に掲載されている内容に訂正がある場合のみ、PDFで事務局に提出すること。エコアクション21中央事務局のホームページで公開されている場合は不要。なお、訂正後の環境活動レポートは、速やかに地域事務局に提出し、中央事務局のホームページでの差し替えに努めること、中央事務局のホームページ掲載準備もしくは認証・登録申請中（地域事務局判定委員会通過）の環境活動レポートは、当該地域事務局が受理したものを特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会の事務局へPDF形式で提出すること。

5. 募集期間

平成29年6月7日～平成29年8月末日まで

6. 選考方法

- 九州環境カウンセラー協会は、九州・沖縄県内のエコアクション21審査人等の中から必要な人数を選考委員として任命し、九州環境活動レポート大賞・九州選考委員会を事務局内に設置する。
- 任命に当たっては、10月に開催されるエコアクション21全国交流大会in福岡の運営を考慮するとともに、できるだけ地域間の隔たりがないように配慮するほか、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局および判定委員の皆様にも助言を求める。
- 九州環境カウンセラー協会は、選考委員の中から必要な人数を二次選考委員として任命する。
- 九州環境カウンセラー協会は、評価方法を選考委員に通知する。
- 選考委員は、九州環境カウンセラー協会が作成した評価方法に基づいて、第一次選考を実施し、九州環境カウンセラー協会に結果を通知する。
- 環境活動レポート部門、外部コミュニケーション部門は、それぞれの選考基準により評価する。
- 二次選考委員は、九州環境カウンセラー協会が開催する二次選考会に出席し、一次選考結果をもとに、各賞の受賞者を協議・決定する。
- 選考委員は、応募された事業者の内、九州環境カウンセラー協会より指名された事業者の良い点、改善が必要な点を抽出し評価コメントを作成し、九州環境カウンセラー協会に提出する。

7. 選考基準

[1] 環境活動レポート部門

(1) 基本方針

- ・環境省策定の「エコアクション21ガイドライン2009年版」及び「業種別ガイドライン2009年版」等審査基準に基づく環境活動レポートであること。
- ・事業の特性に応じた環境負荷や取組の状況が適切に把握、評価されていること。
- ・現状を踏まえて、未来（次年度）に向けた取組が打ち出されており、より高度な取組みへと発展する可能性がみられること。

(2) 個別評価項目（一次、二次 個別シート参照）

・ **一次選考**

- ①組織、事業概要の記載、認証登録の範囲や拡大スケジュールが明確か
 - ②環境方針、環境目標、環境活動計画の整合がはっきり読み取れるか
 - ③環境目標達成に向けた活動、成果や評価結果が明確に記載されているか
 - ④環境目標や環境活動計画は、具体性がありチャレンジする姿勢が読み取れるか
 - ⑤読みやすく、わかりやすく構成されているか
 - ⑥環境活動計画、実施結果をもとに次年度の活動方針に反映されているか
 - ⑦全体を通して、PDCAサイクルが回っていることを読み取れるか
 - ⑧全体を通して、必須9項目の記載がしっかりしているか
 - ⑨今後の活動の広がりや成果に大きな期待が持てるか
 - ⑩注力するテーマが明確で、具体性があり、他の模範となる内容があるか
- 新人賞の選考に際しては、特に⑦、⑧を重視する。

一次選考個別シートの各評価項目の評価で、計50点満点とする。平均点以上をもって二次評価対象とする。

・ **二次選考**

一次評価の総合点が平均点以上の環境活動レポートを対象とし、全体的に優れたもの、取組部門に特色が見られるものを選別する。

- ①環境方針、環境目標、環境活動計画の整合がはっきり読み取れるか
- ②環境目標達成に向けた活動、成果や評価結果が明確に記載されているか
- ③読みやすく、わかりやすく構成されているか
- ④二酸化炭素排出削減のための活動が充実し、成果が期待できるか
- ⑤廃棄物削減、リサイクル向上に向けた活動が充実し、成果が期待できるか
- ⑥水使用量削減や廃水処理などの稼働が充実し、成果が期待できるか
- ⑦化学物質の削減（管理）やグリーン購入の取組が充実し、成果が期待できるか
- ⑧生物多様性に関連した取組を取り上げ、成果が期待できるか
- ⑨事業活動による環境貢献に積極姿勢が見られ、活動が充実し、成果が期待できるか
- ⑩地域社会への環境貢献に積極姿勢が見られ、連携した成果が期待できるか

[2] **外部コミュニケーション部門**

元となる環境活動レポートと整合していること。

コミュニケーションツールとして作成されたダイジェスト版や環境情報掲載書は、環境活動レポート部門の評価項目にこだわらず、活動状況が簡潔に記載され、明確に読み取れるか、今後の成果や情報発信効果が期待できるかを重視する。

(1) 評価の前提条件

- ①環境関連法規等の違反がないこと。または違反が発覚したあと、事実経緯と改善経過を記載していること。
 - ②外部からの苦情に適切に対応していること。
 - ③エコアクション21ガイドライン2009年版の環境活動レポートに関する要求事項を満たしていること。
- 但し、ダイジェスト版や環境情報掲載書については、この限りではないものとする。

8. 結果発表

平成29年11月中旬（予定）に、九州環境カウンセラー協会ホームページ及び九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局ホームページで公開するとともに、応募いただいた事業者には別途連絡する。

9. 表彰式

平成29年11月下旬に福岡市内にて表彰式を開催する。（予定）

表彰式は、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局と連携し、エコアクション21認証・取得事業者又は受講を希望される事業者の研修会を兼ねて開催する。